

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	豊富町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	地域・産業振興事業 コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	地区に生きるアイヌの人々が誇りをもって地域で暮らし、将来にわたり地域と融和し、地区の発展と住民への継承を図る。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業 *該当なし</p> <p>(2)地域・産業振興事業 ①アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業 ○事業実施主体 豊富町 ○事業の実施場所 豊富町 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 当該地区は、路線バスの廃止に伴い、交通手段が脆弱であることから、豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館を起点として、アイヌ文様をラッピングしたワゴン車を運行することにより、市街地への通院や買い物等の生活支援を図るとともに、稚咲内生活館内に歴史写真の展示やアイヌ協会の蔵書を配架し、日常的にアイヌ文化に触れる機会を増やし、アイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業 *該当なし</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 *該当なし</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 *該当なし</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ■アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業 当該地区は、路線バスの廃止に伴い、交通手段が脆弱であることから、豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館を起点として、アイヌ文様をラッピングしたワゴン車を運行することにより、市街地への通院や買い物等の生活支援を図るとともに、稚咲内生活館内に歴史写真の展示やアイヌ協会の蔵書を配架し、日常的にアイヌ文化に触れる機会を増やし、アイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業 *該当なし</p>
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(2)地域・産業振興事業 ■アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業 交通基盤を強化することでコミュニティ活動の安定化及び活性化、アイヌ文化の振興が図られ、アイヌ文化への理解が推進される事業であり、アイヌ文様ラッピングワゴンの利用者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>
(2) 成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成	<p>(2)地域・産業振興事業 ■アイヌ文様ラッピングワゴン利用者数 (現状値) 令和6年度 660人/年 (中間目標) 令和10年度 1,200人/年</p>

果目標の達成見込みについて記載すること)	(最終目標) 令和12年度 1,400人/年
(3) 成果目標の確認方法	各KPIについて、実績値を公表する。また事業を実施する部局以外の役場管理職員で構成する評価委員会により、目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化などの現状及び課題	<p>本町に多くのアイヌの方々が生活する稚咲内地区は、昭和23年(1948年)から入植がはじまり、入植者の多くが樺太引揚者で、特に広地村からの引揚者が半数を占めていた。</p> <p>当時は半農半漁の生活を行っていたが、広地村時代の漁組役員であった小栗孝三を頼り、移住者の漁業振興が行われ、豊富町の漁業の基礎を築くとともに、その移住者の多くがアイヌの方々であり、その後、地域に根付いて生活基盤が確立されてきている。</p> <p>現在においても、豊富町の稚咲内地区にはアイヌの方々が居住しており、地区の活動などを積極的に行っているが、一方で、この地区では他の地域のような伝統的な行事や活動は行われておらず、特別な扱いではなく、あくまで地区の一員として地区の発展を支えてきている。</p> <p>豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館(昭和42年建築)については、老朽化及び耐震不足な状況であり、高齢者も多く、位置的にも日常的な利用に支障が出ていたため、令和6年3月にアイヌ政策推進交付金を活用し、建替を行った。新稚咲内生活館は、歴史写真の展示やアイヌ協会の蔵書を配架し、文化に触れられる拠点として、地区自治会、婦人会、老人クラブ、地区で活動しているNPO等、幅広い利用者層のもと、地区生活に浸透している。</p> <p>豊富町内の産業である漁業においては、サケ、ホッキ、ヒラメ等を主として漁獲しているが、近年、担い手不足と高齢化により、アイヌの人々を含む漁業者が、大きく減少している状況にある。</p> <p>移住当初から生息し、貴重な収入源となっていたホッキは、地区漁業者全員が操業しており、「茶ボッキ」と呼ばれ、地区の貴重な資源となっていたが、減少傾向にあるため、母貝の移植放流を行うとともに、生育を阻害しているカシパンの駆除を行い生育漁場の環境を整備することで、資源の安定化を図り、町の産業振興につなげていく必要がある。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	稚咲内生活館は、町が所有し、清掃や点検等管理の一部については、地域住民が主体となり行っている。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	豊富アイヌ協会及び稚咲内町内会とは定期的に意見交換を行っている。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	6,760,800	6,702,100	58,700	0
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	1,690,200	1,675,533	14,667	0
民間団体負担額	0	0	0	0
雑入(運賃収入)	300,000	130,000	170,000	0
一般財源	0	4,824,066	0	△ 4,824,066
計	8,751,000	13,331,699	243,367	△ 4,824,066

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
(2)地域・産業振興事業	8,751,000	6,290,000	2,461,000	0
報酬	0	0	0	0
給料	0	0	0	0
職員手当等	0	0	0	0
共済費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0
委託料	7,573,000	5,269,000	2,304,000	0
賃借料	758,000	758,000	0	0
役務費	42,000	45,000	0	△ 3,000
燃料費	378,000	218,000	160,000	0
備品購入費	0	0	0	0
(3)コミュニティ活動支援事業	0	7,041,699	0	△ 7,041,699
報酬	0	1,285,180	0	△ 1,285,180
給料	0	3,204,900	0	△ 3,204,900
職員手当等	0	1,448,764	0	△ 1,448,764
共済費	0	936,781	0	△ 936,781
報償費	0	6,000	0	△ 6,000
消耗品費	0	49,690	0	△ 49,690
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0
備品購入費	0	110,384	0	△ 110,384
合 計	8,751,000	13,331,699	0	△ 4,580,699
報酬	0	1,285,180	0	△ 1,285,180
給料	0	3,204,900	0	△ 3,204,900
職員手当等	0	1,448,764	0	△ 1,448,764
共済費	0	936,781	0	△ 936,781
報償費	0	6,000	0	△ 6,000
消耗品費	0	49,690	0	△ 49,690
委託料	7,573,000	5,269,000	2,304,000	0
工事請負費	0	0	0	0
賃借料	758,000	758,000	0	0
役務費	42,000	45,000	0	△ 3,000
燃料費	378,000	218,000	160,000	0
備品購入費	0	110,384	0	△ 110,384